唐土訓蒙図彙

巳集

序

藻其字倭其訓而童蒙之士可教焉加之以圖而童蒙之士可益喜而裝焉便也書之所以作也圖山海之經皇敢乎唯為載酒問字之資耳

名曰唐土訓蒙圖彙都若
干卷請序於余遂書而遺
諸享保戊戌仲春之望玉井
直道題

叙

夫世界國家之為
教國書來世界之教
取游學之法徒書於教而
未能生國書如教徒
[illegible]

不能盡所以然之事
藉之未必能之迹
以不思世之學戰場強
人生百歲宅宇以存
學術業以收英物者
制勝策之用策之
多種世能潛之英物
羅戰戈踏陣之
可知出海內用物
物窮理之所以然之
藉未必能一出形而
十年四年之間四方之別

蒙圖彙例 [illegible]
有程子以 [illegible] 窟 [illegible]
[illegible] 山 [illegible] 亨 [illegible] 之 [illegible]
沿革 [illegible] 任事 [illegible] 也

[illegible]

唐土訓蒙圖彙凡例

一此編一部九門所謂天文也地理也宮室也人物也人事也器用也草木也禽獸也魚介蟲也分為十有四卷於其門中亦類聚之分以小圈便其展翫如其器用有古器圭璋樂器舟車兵具蠶織衣服儀制珍寶之類各門皆然矣餘倣之

一嚮者有訓蒙圖彙而合記和漢令加此編採漢事而不擦和事一州一木一飛一潛不採之於前書中前書所收品目一千此編所載一千六百九十冀以前書併此編則無物而有遺且如其物之高

而名之異訓之悟者皆不載于此亦自古有訓僧者若夫杜若訓加幾津波多黄鳥訓字久比須之類不勝枚矣今皆正之以載之

一若其緜名和訓也求之近世先輩之所考間加己意以附之極知固陋不能無妄謬觀者改正其妄謬則幸甚

一此編有圖無釋者頗多矣豈難解之而不解之者也恐觀者厭其繁而棄之故畧其事舉其圖而不遺讀者無怪其闕畧而可矣

唐土訓蒙圖彙卷之一

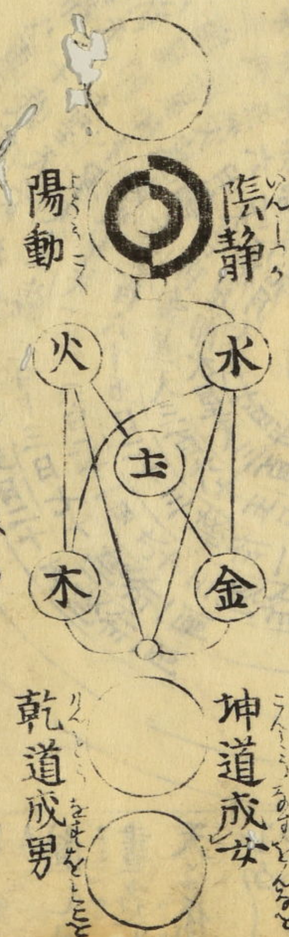
和名并和訓附

天文

易ハ所以仰觀天文トハ日月星宿の事也文トハ文章なり式部ハ大極より日月星の運行を詳まして載てのこれるこそ尤

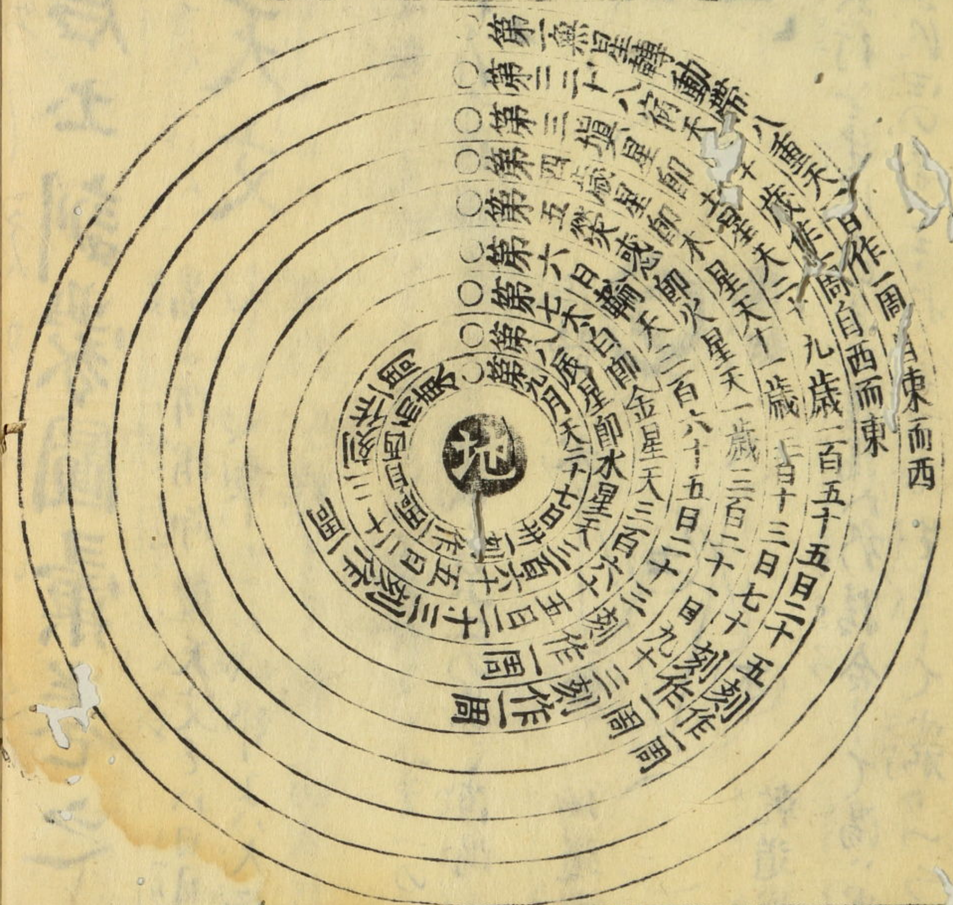
大極

大極トハ天地いまだ分れざるの理をいふ才一の図しその理すでに備われり陰陽とあるは両儀いふ二の号し陰陽交動合して



五行と生ず三の号ハ陰陽の行精合して陽ハ男となり陰ハ女となり男女の精合して万物化生す

九重天圖



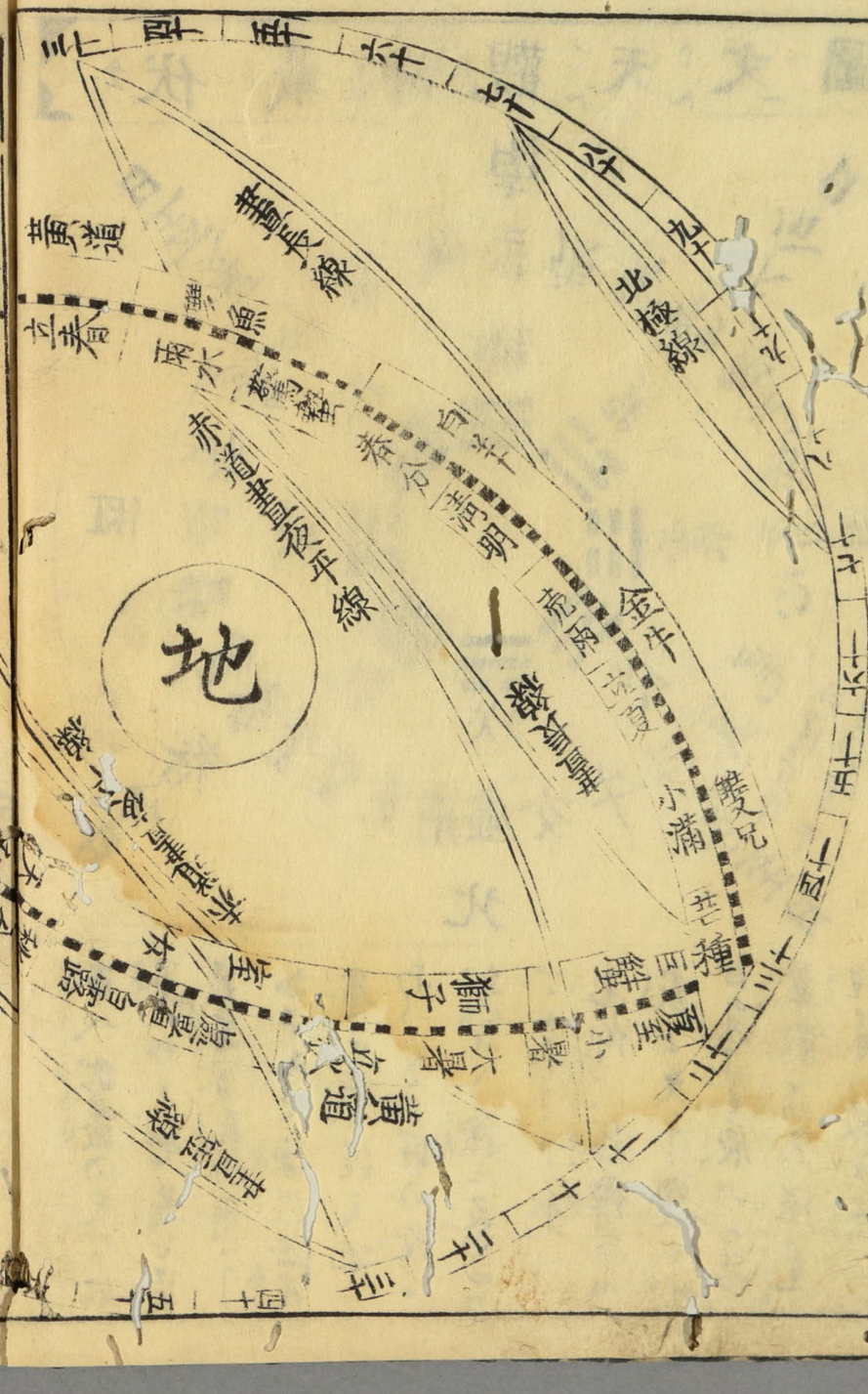
九重天ハ数ノ極なり天ハ動と定まりて其体渾圓し日ハ天ノ精ニて晝夜とりて其天ノ係て盈虛となり五星ハ晨昏に伏見となり列宿ハ二十八舍まして運旋ス年とるに及ハて善あるの星もあるとなるとなり之改まり異なり列宿也故の名の濫の濫

伏羲仰觀天文圖

古へ伏羲の天下に王たりし時易を作りて万民の用ふるかたちを象て天地を遠ノ近に求て万物の理をおのゝ察せしとかしかし先仰て經緯天象を天ノ理の日月星辰の天盈虛消息陰晴晦明の故を察のふとかしこ

黄赤道南北極之圖

又天地儀とも小なり


地
北極線
赤道黄道交平線
黄道
赤道
雙兄
種
小滿
金牛
寒露
清明
寒露
小雪
大雪
冬至
小寒
大寒
立春
雨水
立夏
小滿
夏至
大暑
小暑
立秋
処暑
白露
秋分
寒露
霜降
立冬

天河総星之圖

天漢ハ東方
天より起りて箕尾
二星の間を
過るといへり古況
漢津ハ金乃
氣なり金生
水の理とかく
いへるなり
海ハ水氣の
わかれ出る星
なるゆへ天の
乃練のごとく
なりて海の名
となるなり

予既ニ此編ヲハ大極ヨリ七曜ノ行度
ト氣の運ハ宿三十六禽の屬十幹五行
の要詳ヲ載と以へとも初学の志勝ル者
されと記者の使しんことをいとそれとくく
除ちくるつるまてに志る所ハ易学ヲ心を
潛さること多年甚ハ著ル所の書易学啓蒙
索驥編 周易本義拙解 卜筮私考 同擲
九要說、五行活套 星學知要等の中ヨ
右の諸説天文易学の秘を収むと以て

唐土訓蒙圖彙巻之二

和名并
和訓附

地理

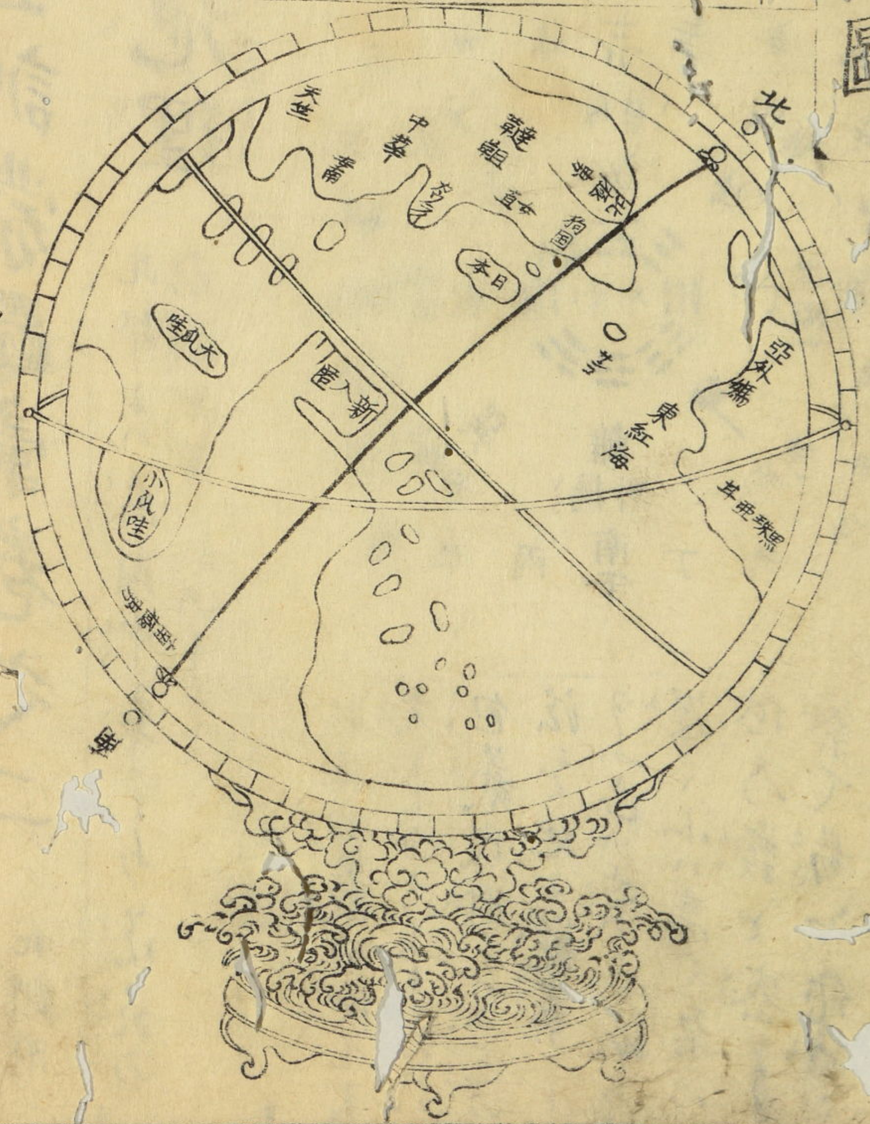
此部よハ萬國中華ちゆうかの名勝とゝろ〻ひのもとの乃ゑ沢ゝ

伏羲俯察地理之圖

此圖伏羲の仰て天文とゝろとい上よ奥ハ包羲氏俯して一定の法を地よ觀察ゝ
ゝ高ハ崇く深を深ゝ小ハ高く南ハ低乃類と察て易ゝ作ゝ

地球圖

いにしへは輿地全圖と以て圓球とせり地面地下とふく南北と分ち天と載くあらざるなしわれらが居る所を赤道とし緯線をしてわらましめ寒暖をあきらかにす



此輿地全圖ハ予壯年の時武人の家藏とうつして秘蔵ス年とともに今年まで元本の形狀とうつるす毫厘もうつしくるはらくはいかに一圖ずつ合縫とぢ合て一部一冊の小ときもあるさしいつも

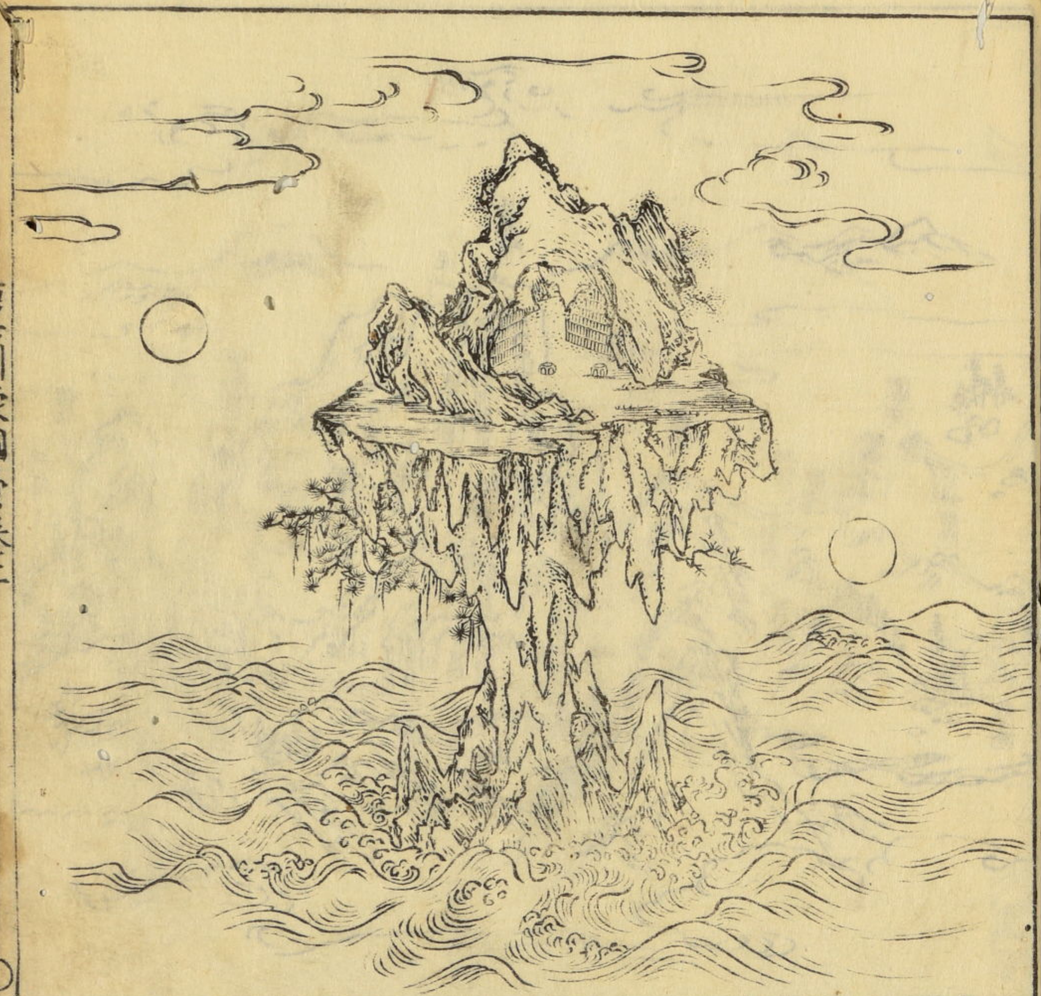
中華十五省并華夷一統圖

朝鮮國圖

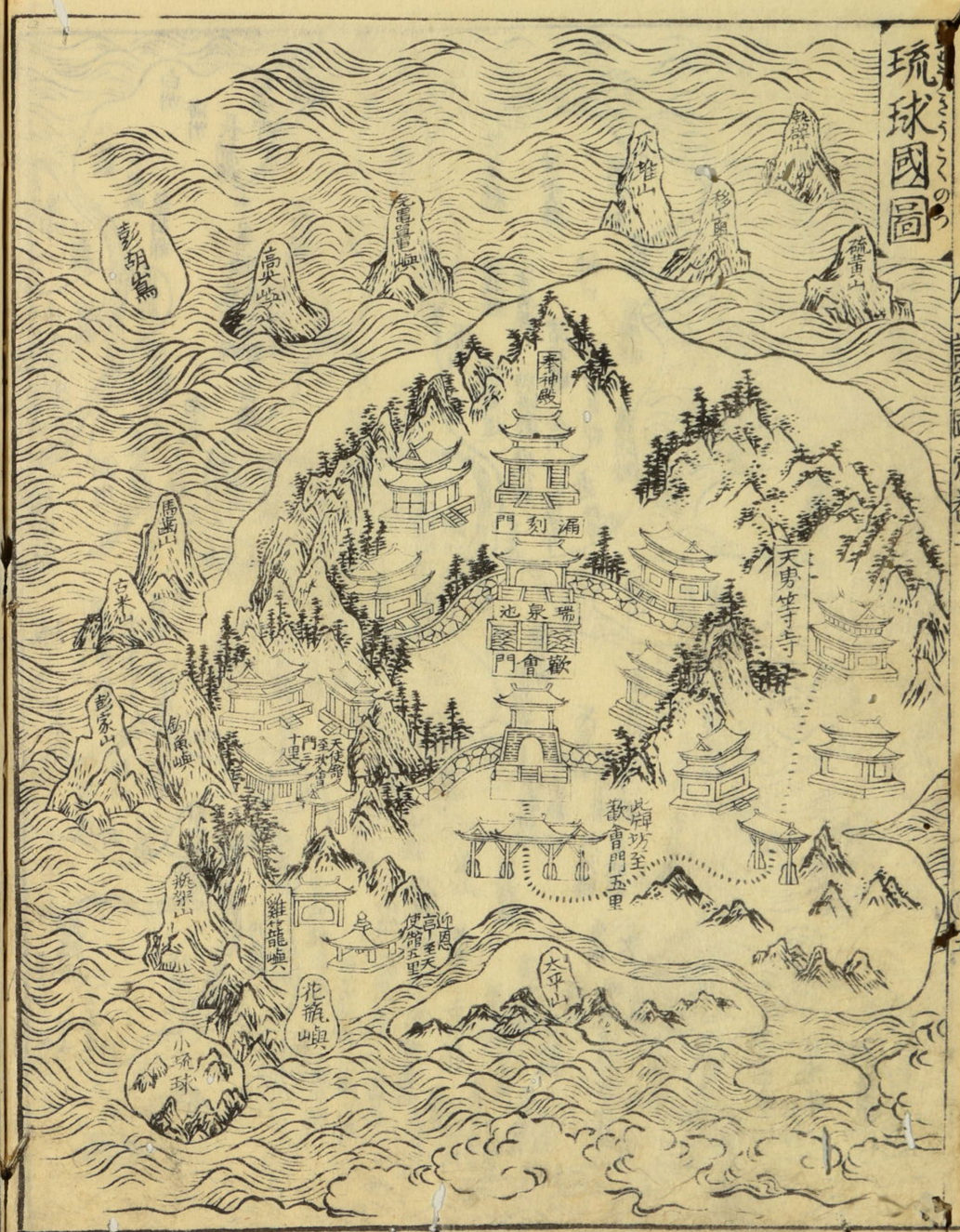
北

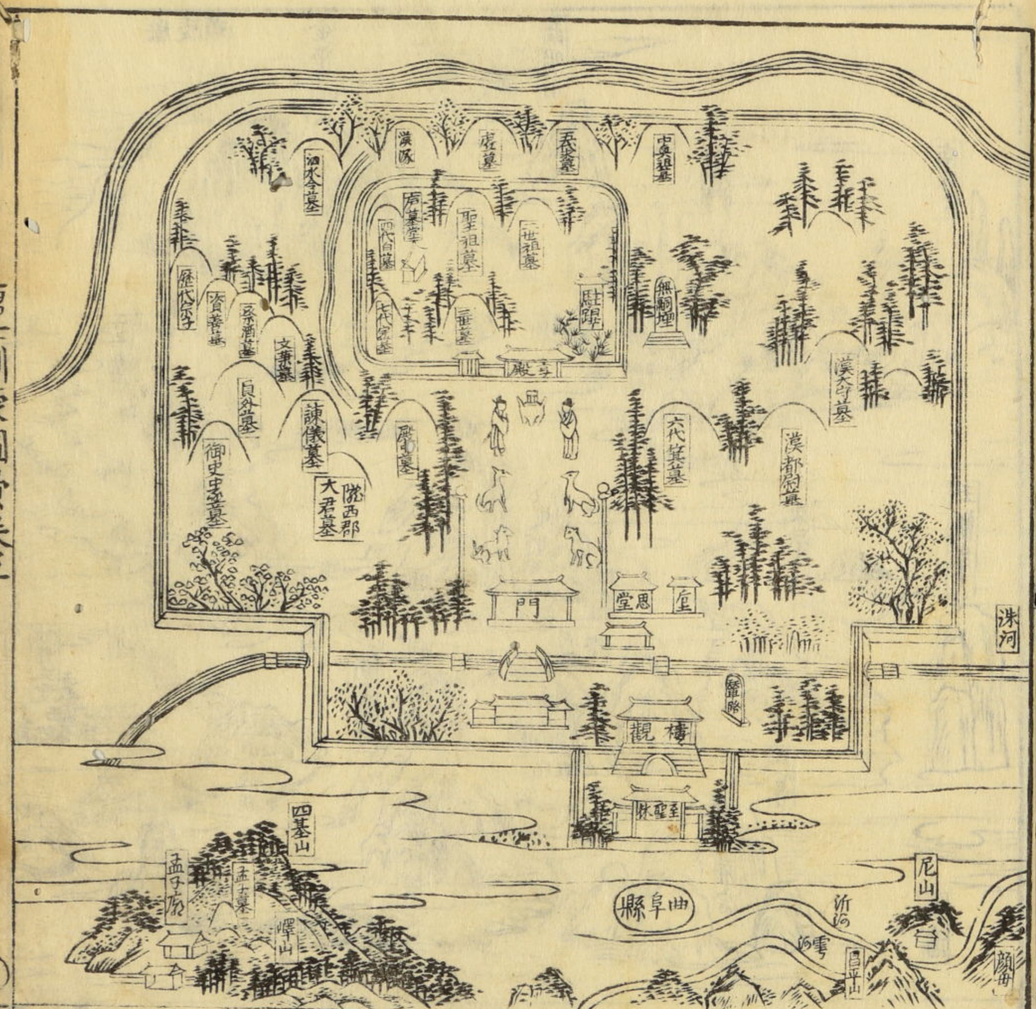
長白山
同州
清安
開元
盛平
新陽
銅山
貴德
潘陽
宣風
鴨綠江
遼陽
龍川郡
加山郡
義州
平安道
安州
鳥
愛州
銀州
廣利府
常州
買州
昇州
見仁府
青州
合蘭府
寧邊府
雲山郡
平州
西北雄鎮
泰川縣
渭川郡
順川郡
傳州郡
竹州郡
定遠府
德川縣
撫州
昌城府
鉄州
狄踰嶺
靈州
朔州
定州
沙香
銅州
平山
慶川郡
德州
燕州
寧遠郡
分水岑
永興府
安邊府
鉄岑
咸興府
端州郡
咸鏡道
甲山
磨天嶺
東北雄關
蜀莫郡
開州
會寧府
女直兀良哈界
階州
延州
泉州
鉄山
鐵嶺
通川郡
欽谷縣
平康縣
嶋珍縣
端知縣
高城郡
竹城郡
江原道
烈山縣
平海郡
襄陽府
江州
三步府
准陽府
松岳郡
扶餘縣
鐵原府
寧越郡
楊根郡
仁王
利城縣
孟山縣
宝鳳
西江
鱗
洌江
大同江成川府
王
南

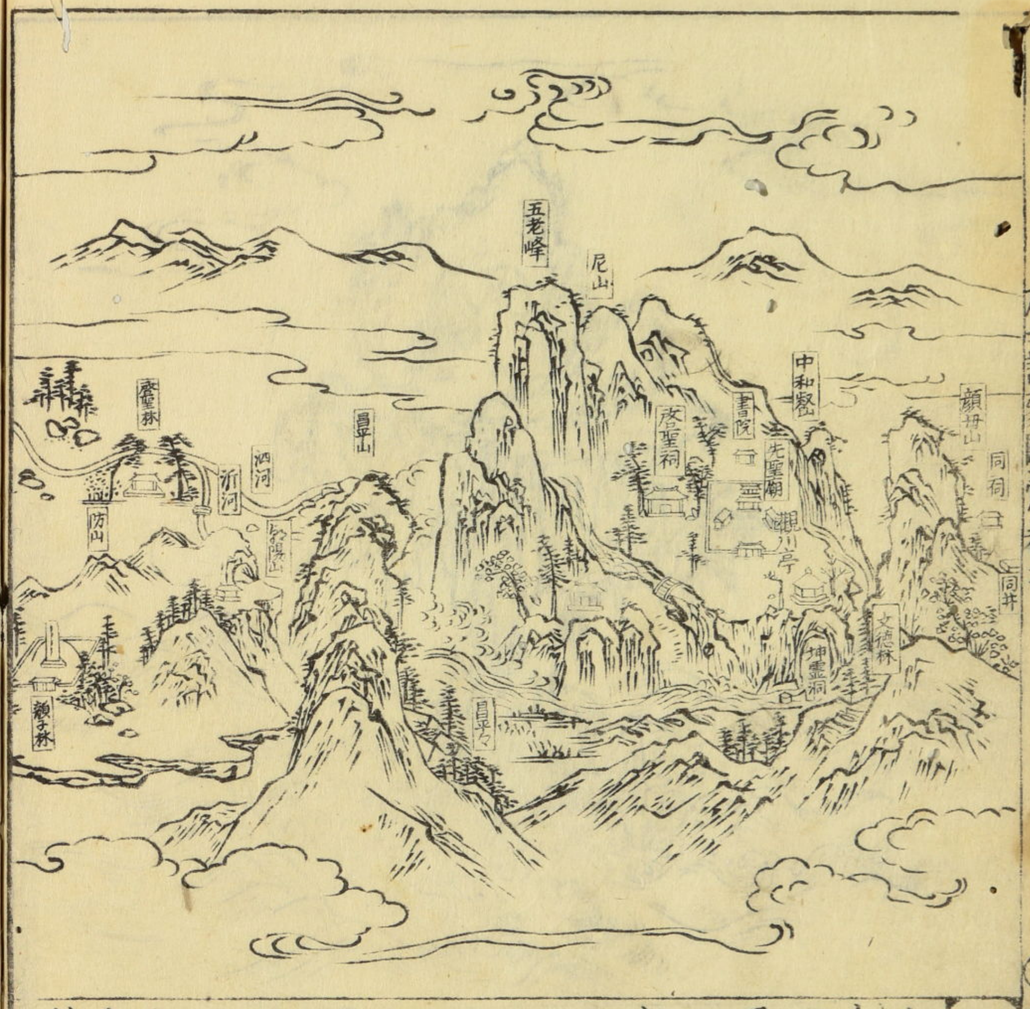
白州
海州
長淵縣
半峯縣
延安郡
三和縣
安岳縣
龍岡縣
中和縣
瑞興府
南京
咸從縣
遂安郡
百濟
黃海道
文化縣
仁州
義美府
幸州
石城縣
三登縣
土山縣
谷州
廣州
水寬山
酒泉縣
天宅
楊州
三角
豊德郡
原州
須国
昭陽江
麟蹄縣
古巻国
蓬谷
寒溪
江陵府
丹城縣
溟州
雄善郡
槐州
安昌縣
忠州
林川郡
保寧縣
永春縣
公州
扶餘縣
白馬江尺安郡
清州
連山縣
報恩縣
熱岐縣
清州
漢城府
果州
水原郡
開城府
城
潤州
泗州
咸陽郡
中山
泗州
礼州
光州
昌平縣
樂安縣
全羅道
錦江
忠清道
清風郡
錦山郡
公州
洪州
温陽郡
羅州
竹山
扶寧縣
臨波縣
海南縣
興德縣
麻仁縣
古阜縣
全州
扶安郡
遷移安郡
神雲縣
神口
古阜郡
渚城縣
萬頃縣
侯菅舍
黃源
扁順縣
珍島郡
濟州
昂就
羅國
茂長縣
南原府
全羅縣
南洋縣
黃城縣
大江縣
靈岩郡
濟南縣
康津縣
會寧縣
晉州
敬山
寧海
清河縣
昂駕
国
金海府
金山
尚州
永川郡
梁山郡
安東府
義興縣
清道郡
義城縣
東萊縣
高靈縣
慶尚道
蔚山郡
聞慶縣
蔚州
慶州
昌原府
昌寧縣
慶州
山陰
長須京山
島岑
安陰縣
三加縣
安陰
金山
義興縣
守城縣
善山府
南道雄鎮
陜川郡
熊川郡
伽耶山
金山浦
木軍節度
巨濟縣
新羅国



蓬萊山 一名ハ雲蓬丘山一名ハ雲萊東海の中ニあり高さ一千里地の方三千里上に金臺玉闕ありと神仙の都上帝遊息の地海水正黒くして風なく波浪なし芝丈人なるの泄来ること久し惟飛仙間よく到る者あり昔禹王水を治て轎車ヨのゝ弱水を度て此山ニいたるといへり



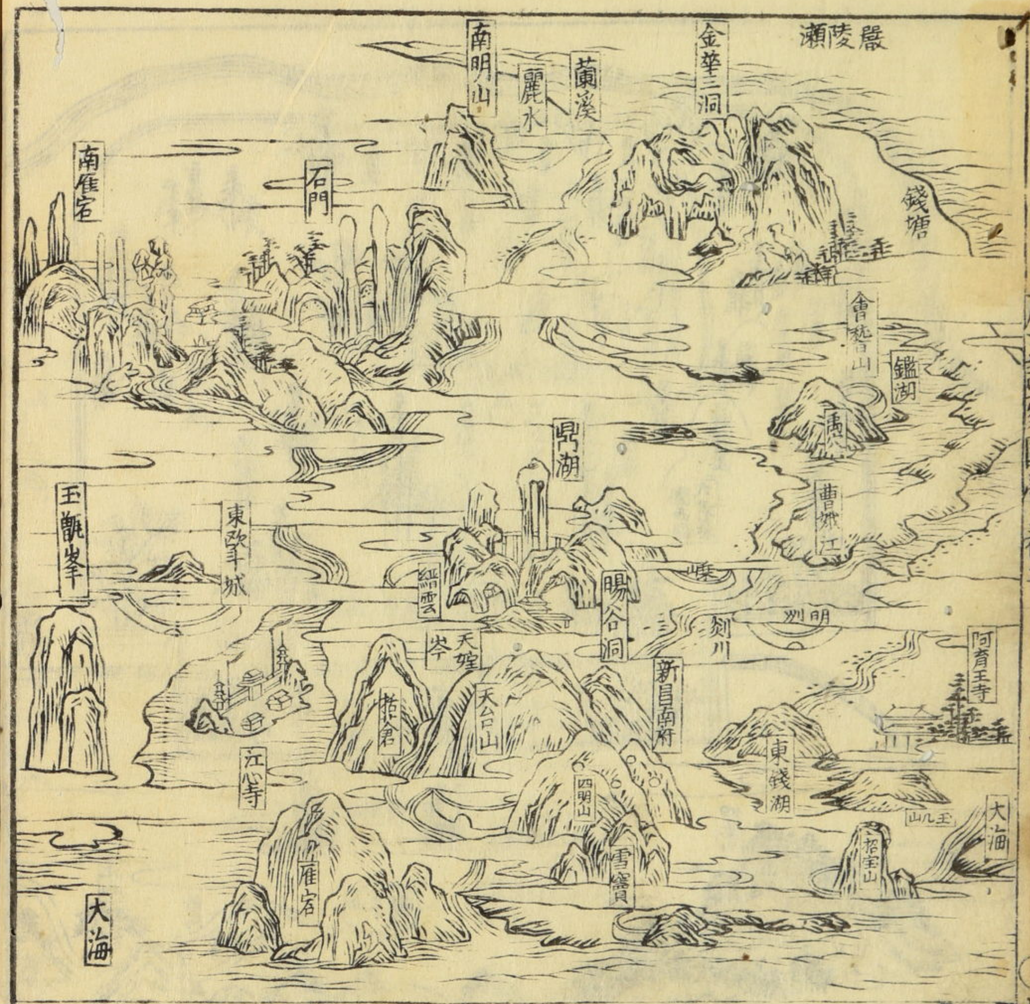




孔林 井 尼山

山東省の濟南府に属する魯国也兗州府の曲阜縣六十八里に尼山あり母顔氏の禱りしに尼山の東に顔母山あり西に昌平山あり洙水泗水乃分流し泗河は聖林の後に沂河は縣門の外なり先聖墓は聖林の中央にあり墓前に碑石あり冢壁石亀の中に荆棘又は刺あり草を生ずる衡品くあり[illegible]の

[illegible]子[illegible]と待して植る所[illegible]して[illegible]は墓のるさ丈餘[illegible]三尺の石碑あり[illegible]の石各七川墓[illegible]の一宗[illegible]子貢の廟の処あり墓の東面に享殿三間あり殿前に翁仲二[illegible]あり[illegible]と[illegible]石麟石虎[illegible]等表二川殿前に門三間その左に思堂[illegible]亭[illegible]あり橋[illegible]あり[illegible]に[illegible]路あり[illegible]に観樓[illegible]樓の南に林あり宜聖林[illegible]

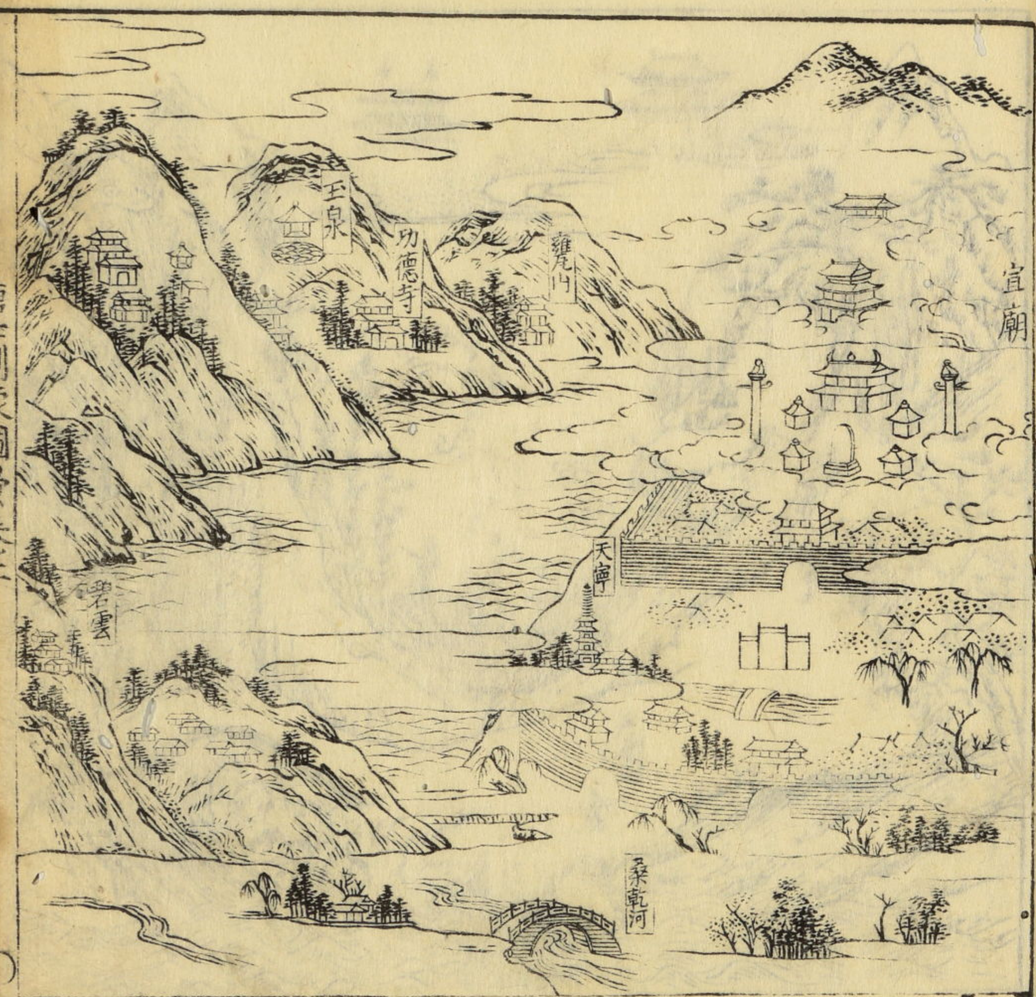


兩越

東海の堺ハ二越わたる於越ハ其北ハ
わたる甌越ハ
南わたるものなり
一越なり
禹の越を句踐の
所なり漢の
時閩粤なり
自ら別て東甌
ハ天台より北
ハ於越の故都
鳳宕より
南を東甌の
別壤

三吳

水經ハ吳興吳郡會稽
ハ吳興吳郡通
典ハ吳興吳郡
丹陽を三吳とす
同しく春秋の
吳都ハ蘇常の
ゐにわり三國に
吳ハ初會稽の
太守に侯を封
後國とするの比
ハ吳ハまわる
吳王闔閭の都ハ
姑蘇の地なり

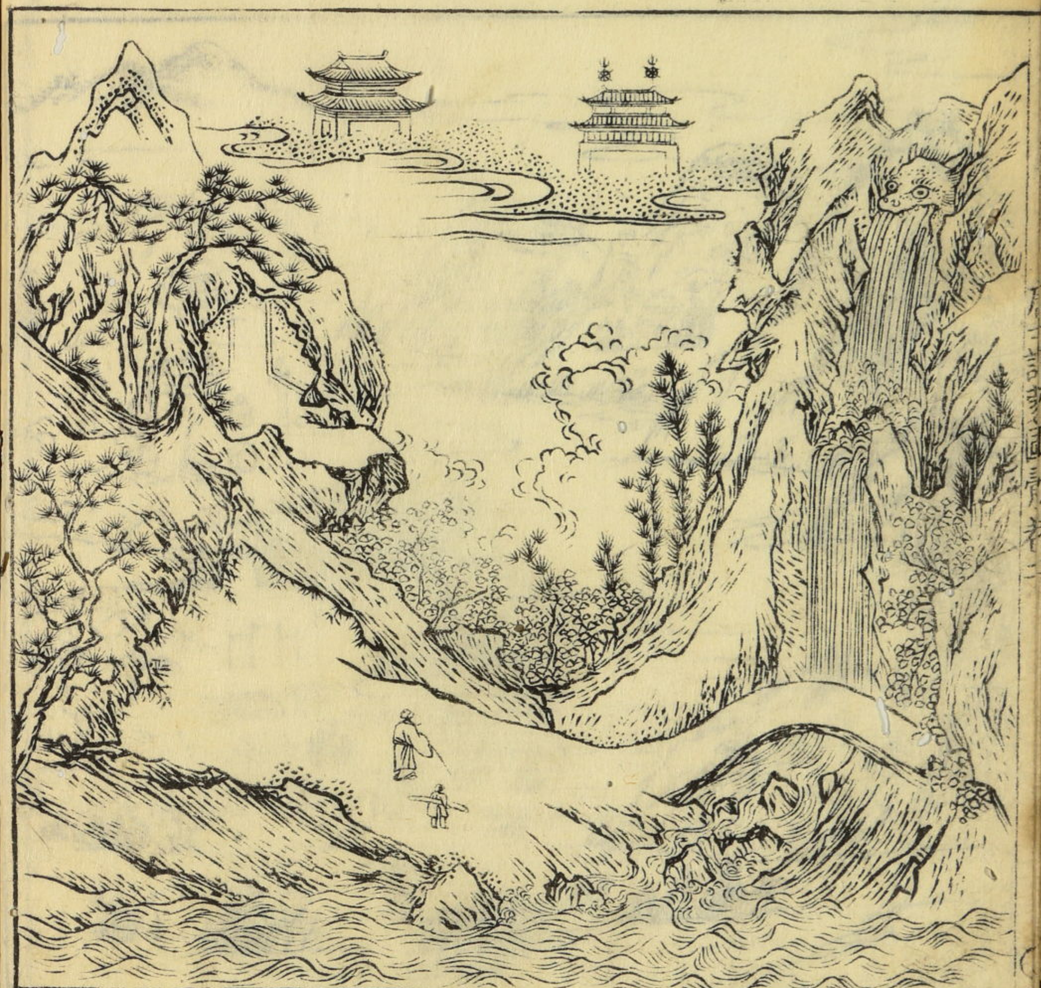


西山

大行山より聯亘して迎伏数百里にして層峯此西湖と滙して山と雞尾山とい寺あり圓覺寺と雙峯たハ西にして石ハ湖なりこの次功德寺あり三湖あり又行て香山樓あり水流く又至て平坡寺あり太ち流の名或八一里或八十里二十里なの廻弛僻しの大觀絶景なりこれ名の景なり

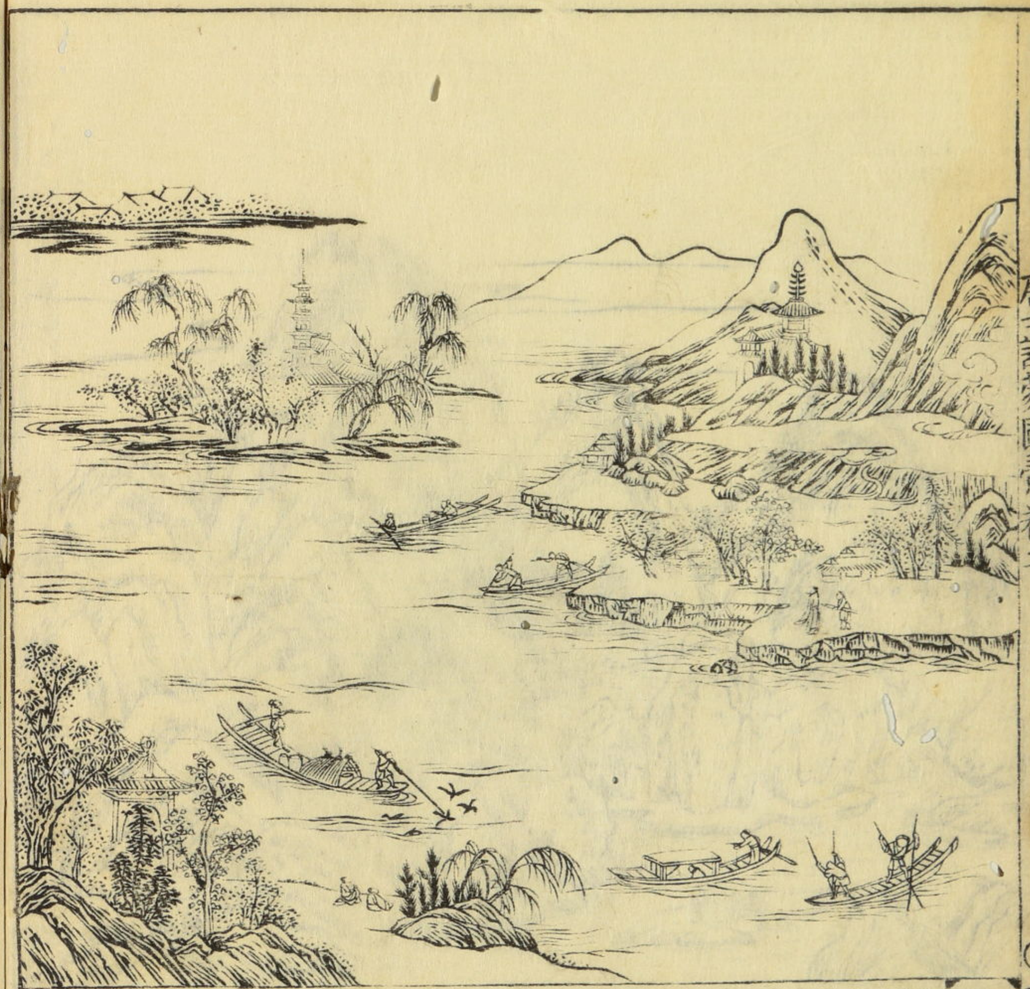
關中

四塞の關あり中故にいつ明の陝西省西安府なり古への周秦漢晉唐いつれも都をし所にして長安咸陽なんしいつれもしかりなり西嶽華山も西安府の内華陰縣にあり周秦漢唐のらやこなれハ終南山渭水驪山鴻門等の名山舊跡文武始皇漢人の陵墓なもこれあり

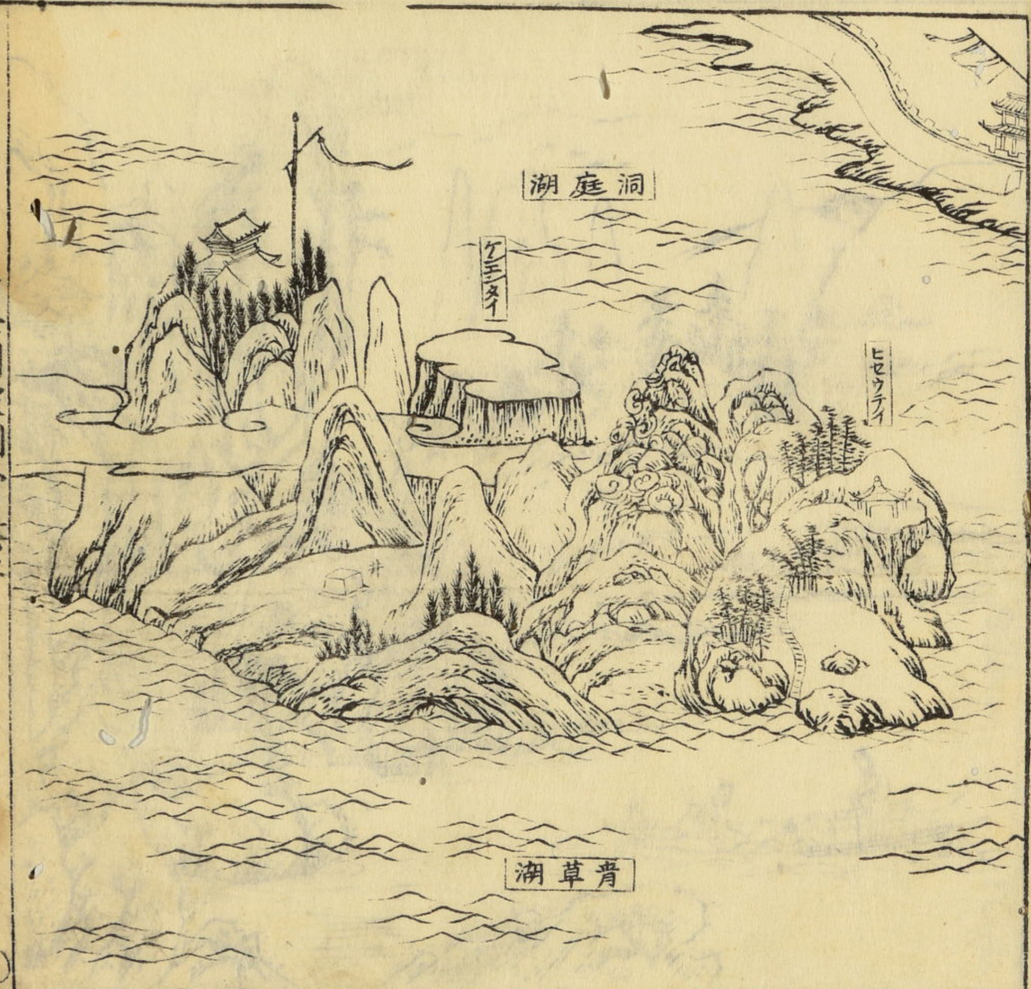


玉泉山　山頂ハ金行宮ハ夫共殿わり山畔ハ三の石洞ありて石屋の上に玉泉の三字と刻りあり山下の水瀦て環十餘里荷蒲菱芡ひひ陂塘水禽游わりさへ至すれども西湖しかる所ハ山の系小石と刻嶺とその山ハ水とをれ分をその嶋ハ佩むの如くそ色ハ系絲のごとくのみて味ゑむあり海下ハ廣さ三丈ばかりの池ありて系石橋をもて池橋下の水流て西湖に入る京師八景のうちの玉泉魚躍とかつく

蜀桟道　蜀ハ四川ハ寶雞より渭水を入る二ハ寶雞より渭水をくだり鎮國ハ桟道ありて大散関わり関下の水道ハ渭水に入り北ハ漢に合ふ漢ハ寛敞多し吾民未と呼て城環とし是をくく山路のくゆる処ハ木を架して接とし下ハ白地ハ寶雞ようこそ間屋とかつく板とかつすることハ順ニのうち風襄郡ハ山より白水ハ借て陳倉口ハ山より路嶮嶮ことつて二人の容ハ通ハ此ハ紫箱署といふ寺樹石あり桟中ハ一の系ハこれより水激湍ハ石盤屈ハ艱難ハ山ハ通ハ



三泖　呉の松江のうちに三泖八府城の西南三十六里にあり大史公の云泖の言は茂なりとかいさんなりと晉の陸機武帝に三泖は多く温夏涼冬にして泖は上中下あり故に三泖といふ浦くさうしつく顧會浦大盈浦黄橋門斜塘石湖秀州塔などいふ所京地多し

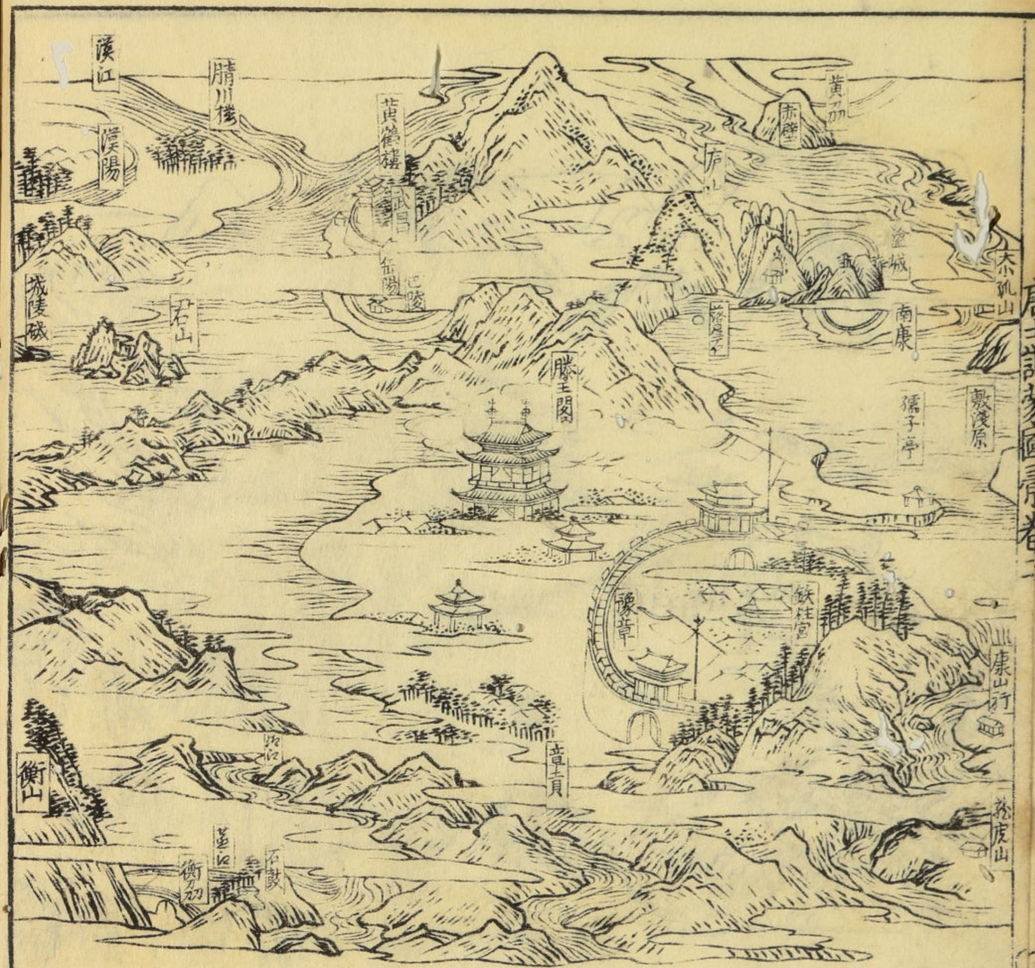


洞庭君山　岳州府城の西一十八里にあり又湘山と名づく狀ハ十二螺髻の如し昔堯の女湘君殆此に居まつり上に楚興寺軒轅臺柳毅井傳書亭飛昇亭響山酒香山あり道書に第十一の福地とす

洞庭湖ハ雲夢湖青草湖とおつてつかりてつかいとめぐる故に君山を洞庭山といつて京おもしろく述

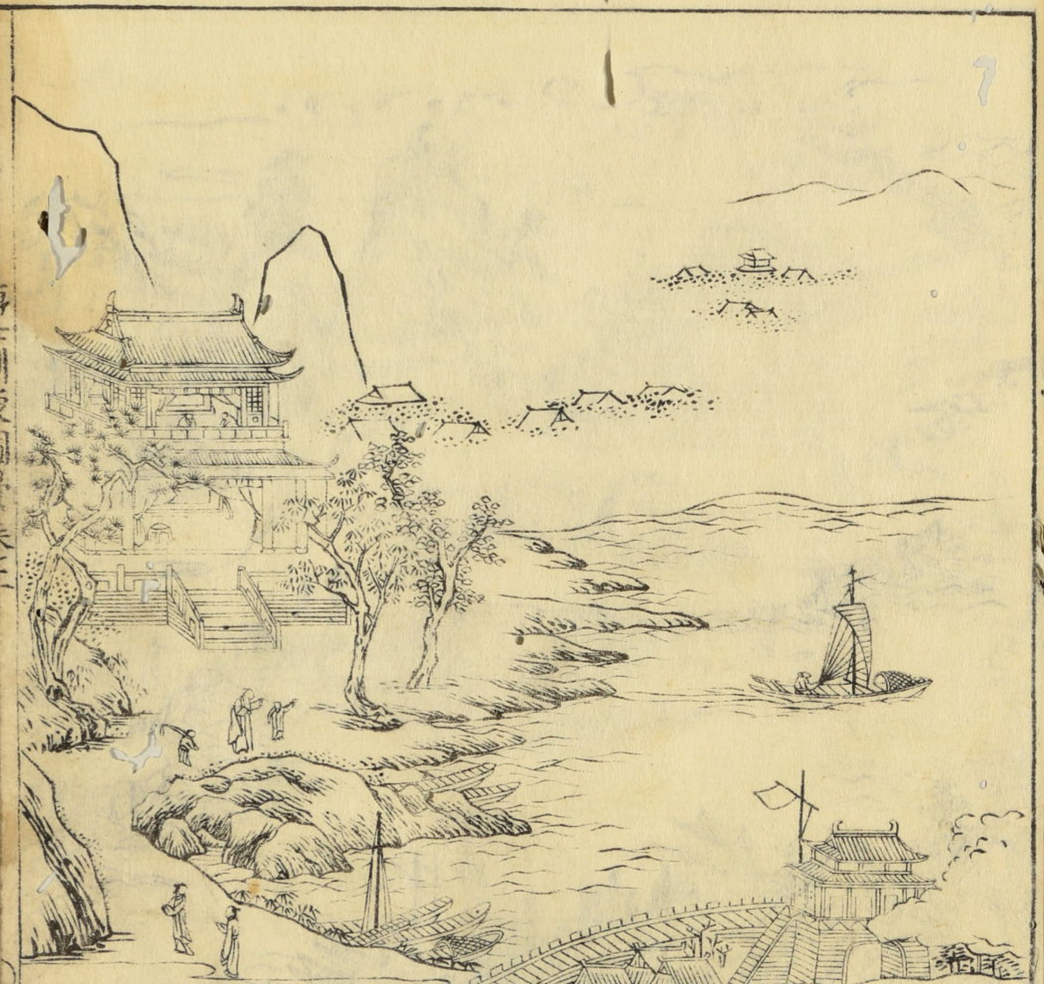
赤壁山　武昌府城の東南九十里にあり宋の元豐五年の秋七月十六日蘇東坡楊世昌と云ふ客と二人舟をのりうかべあそびたのしむ世昌を吹洞簫とゝなしてその音いとうらめしく嫋々たり曹操をこれら曹操をとの人世のうへとゝなりくつわを賦をつくれる文を前赤壁の賦とす

九鯉湖　興化府仙遊縣にあり九仙宮山聳て一峰をなす石上に飛泉あり其水味甘し渓の時何氏といふ者兄弟九人あり此泉を飲よりて仙人となりなのゝ鯉に乘して上昇す故に俗此を仙巖と云ふ巖と云ふ湖と仙水縣を仙遊と云ふ皆何氏仙の故を以なり九仙宮と名づく奥嶺多し



滕王閣　隆興

府府城の西章江門城より八間り唐の高祖の子元嬰いろの都督となる時この閣を建らる故滕王封をしかく故ふ八名あり又二亭あり南を壓江と北を挹秀といふ此閣伯興都督となりて此閣を修復とき時の序を王勃十三歳にて作る名文こ今此閣ハ文よりて洞色をといふ



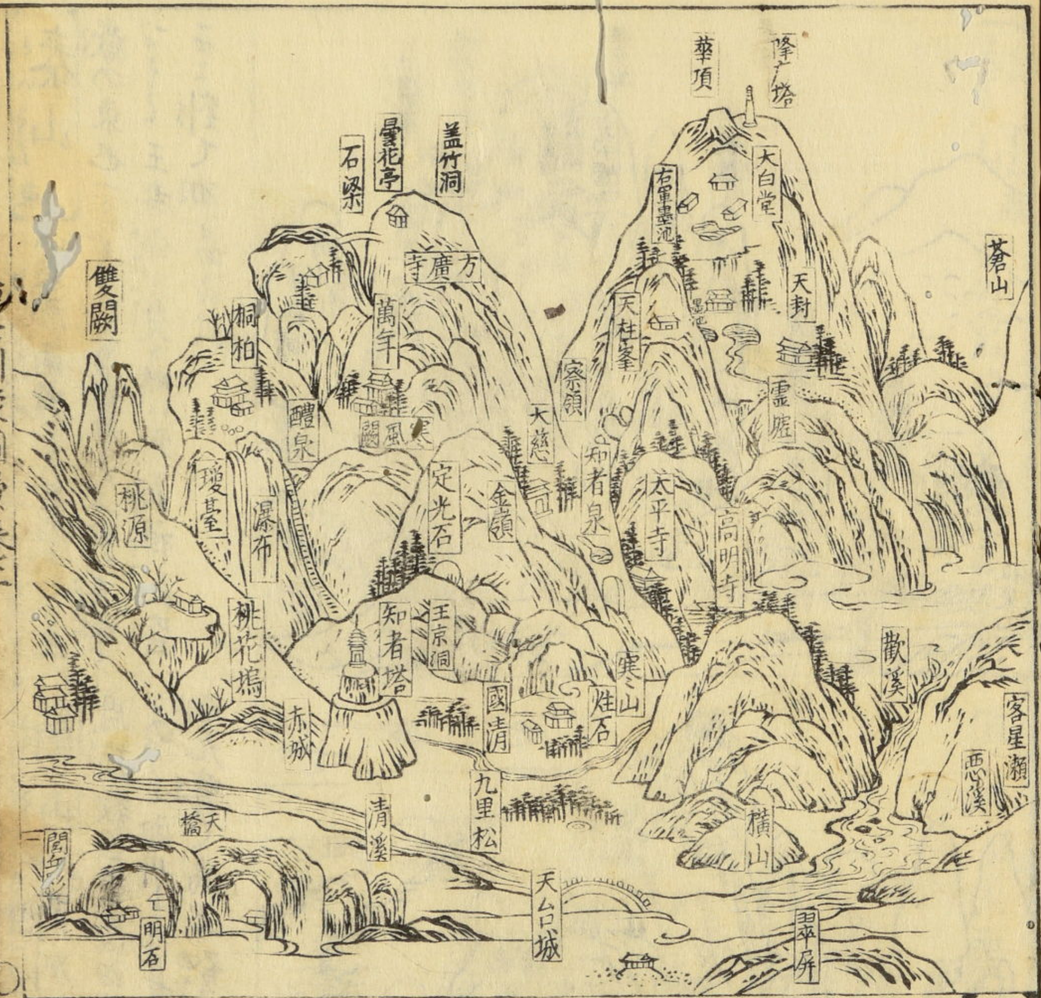
岳陽樓　岳州府

大岳山の陽にあるを故に岳陽といふ樓ハ郡治の西南にして西面ハ洞庭湖君山なりこの樓ハ創始られと云ことを未しす唐の開元年中中書令張説出て此邦に宰し登臨日こ詩をつくられしてこれをもつて樓の名あらしめ後に宋の孫宗敬つくりあ范希文に記をつくり蘇子美に書さ邵跡その首に詩をくると世に四絶と稱ス

黃鶴樓　武昌

府城西よりうしとし費登仙黃鶴よ駕して此よ憩一説故よ遂よ樓よ名付く其�(ハ)巍こうして上ハ河漢よりうて下ハ江流うのぞし岳陽樓とい樓こい一双のものれ兄ともされつくしく

○崔顥登樓詩ニ昔人已乘黃鶴去此地空餘黃鶴樓黃鶴一去不復返白雲千載空悠々晴川歴々漢陽樹春艸萋々鸚鵡洲日暮鄉關何處是煙波江上使人愁

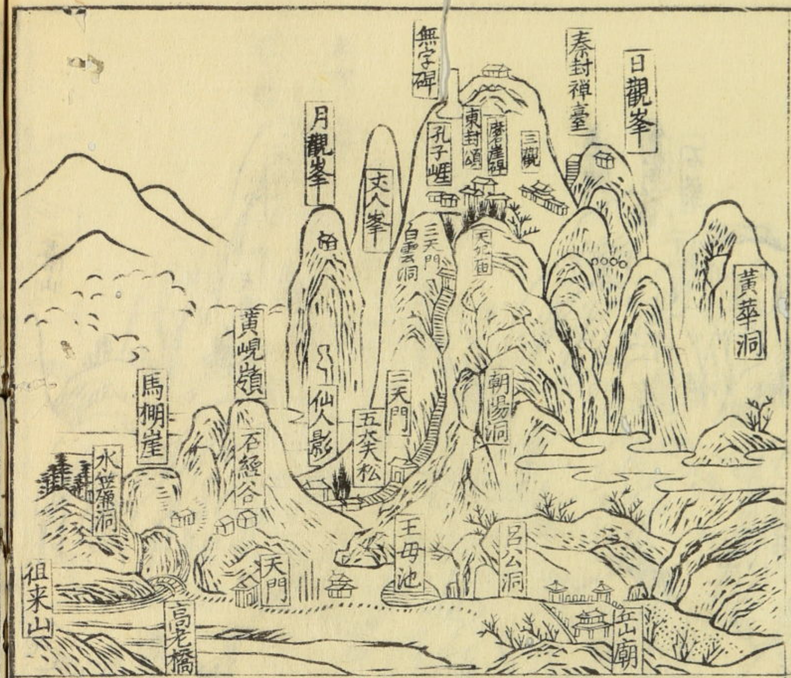


天台山　天台

山ハ天台縣の西一百二十里天台山よ八重あるうまれとうるくしハ一乃こくく高さ一万八千丈周廻八百里高大の故と以て上天の三台星ニ應ずる故台嶽と称しけり此寺院若干その外石橋ありて半天ニこうまり瀑布ハ冷て雷音となり洞天桃源乃類多くあとくくこと

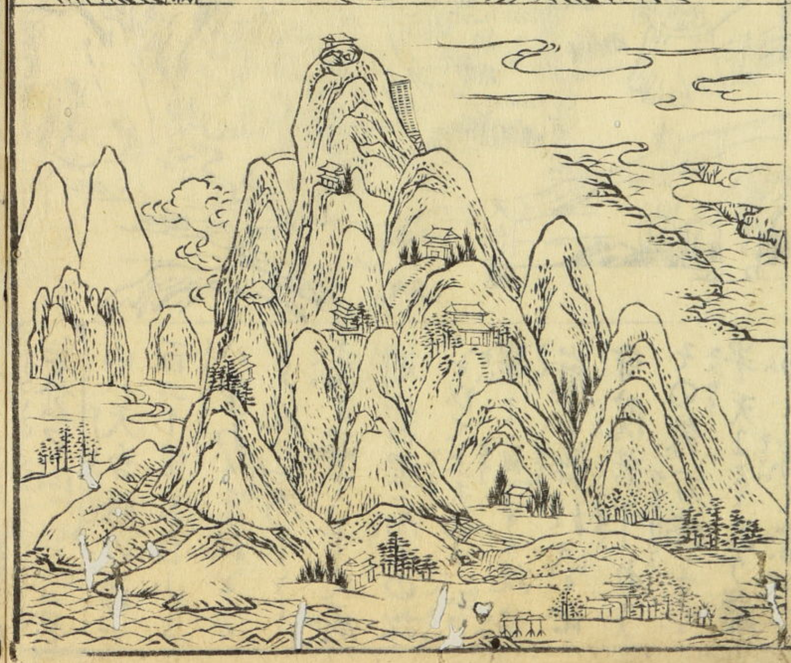
泰山（東）

兗濟南府泰安州にあり。五嶽の東也一名天孫天帝の孫といふなり召魂とつかさどる王者命を受る時は必封禪に皆石に刻て功をわらはす



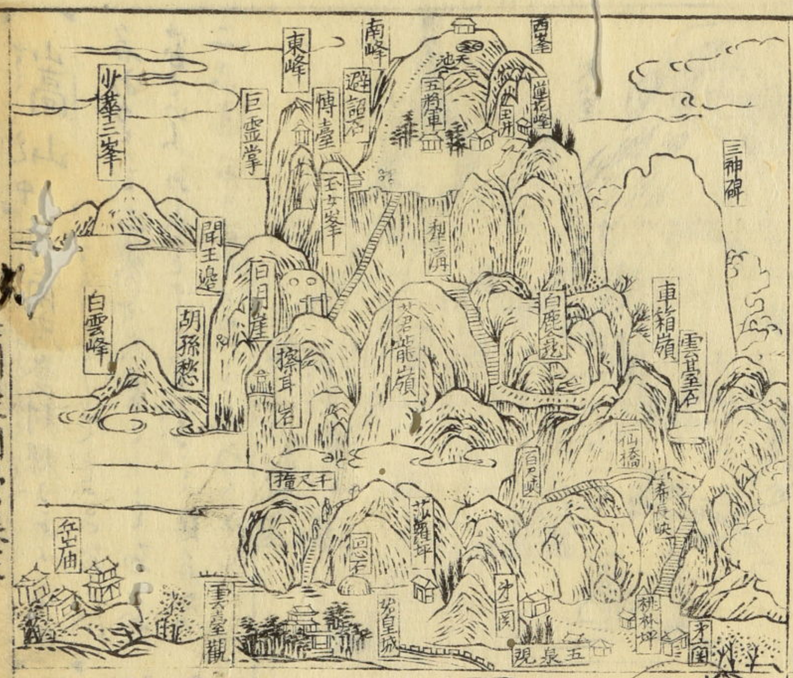
衡山（南）

荊州の山鎮五岳の南周旋數百里高四千一十丈東南八湘川まのぐる湘川より長沙にいたる七百里九向九背し禹王登られとなり



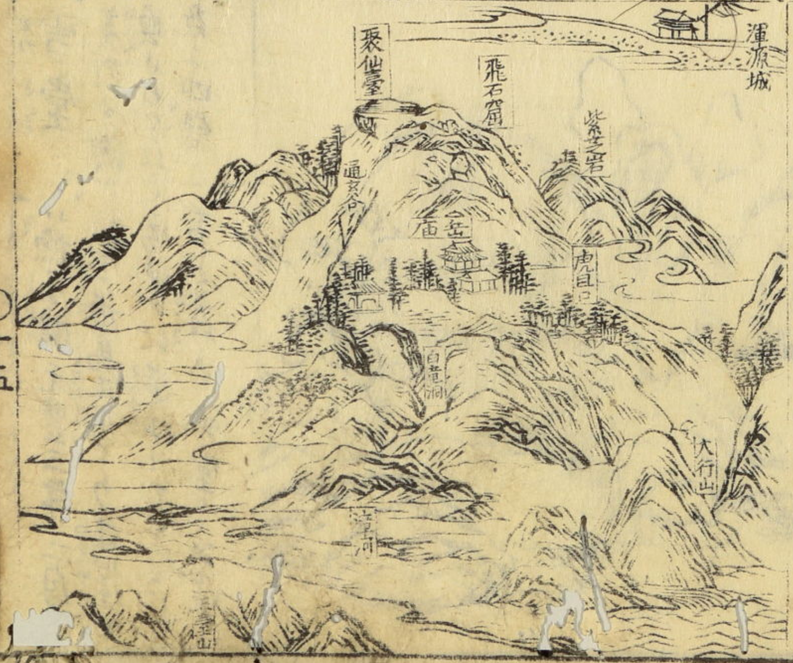
華山（西）

豫州の山鎮五岳の西なり千葉の蓮花とも比あれと服すれは羽化すと華山とふとその名勝旧蹟とくくに記す



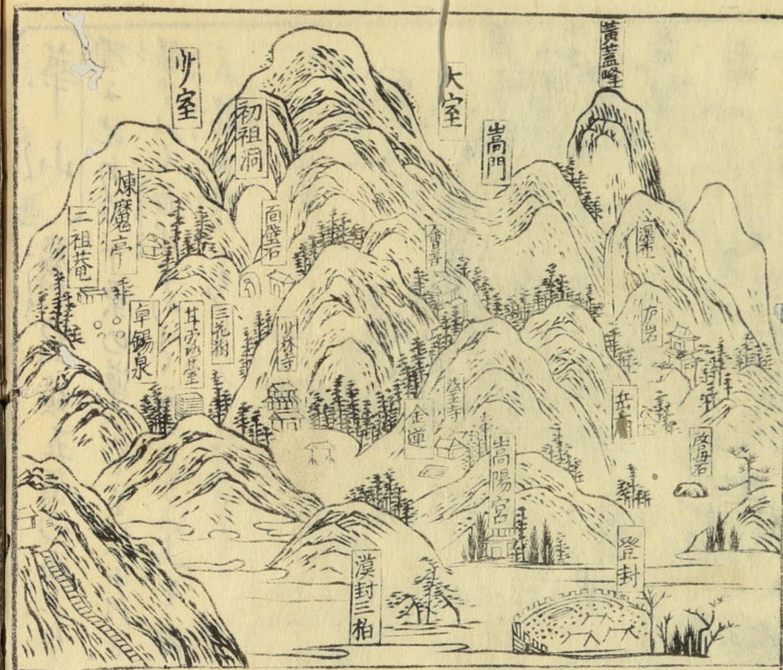
恒山（北）

山西大同府五岳の北にあり恒は常に常山のるさ三千九百丈人周廻三千里大玄の泉神州の九種あれと彼してそと度へし



嵩山

中州河南府登封縣にあり中岳なり大うして高き故に名あるとこ山東と大室とこれを西と少室と二山名石室あり故に名あり



雪堂

蘇子瞻元豊三年二月美列の諫さ為ち慶馬正卿より崔閭屋と與さわりれて雪中に造作してうつし故に四壁に畫と畫く雪堂とかく

羅浮山

増城博羅二縣にあるて邈に海上にのぞむ三千六百丈峰巒四百三十二寺樓泉水石巖洞池のかく

鹿門山

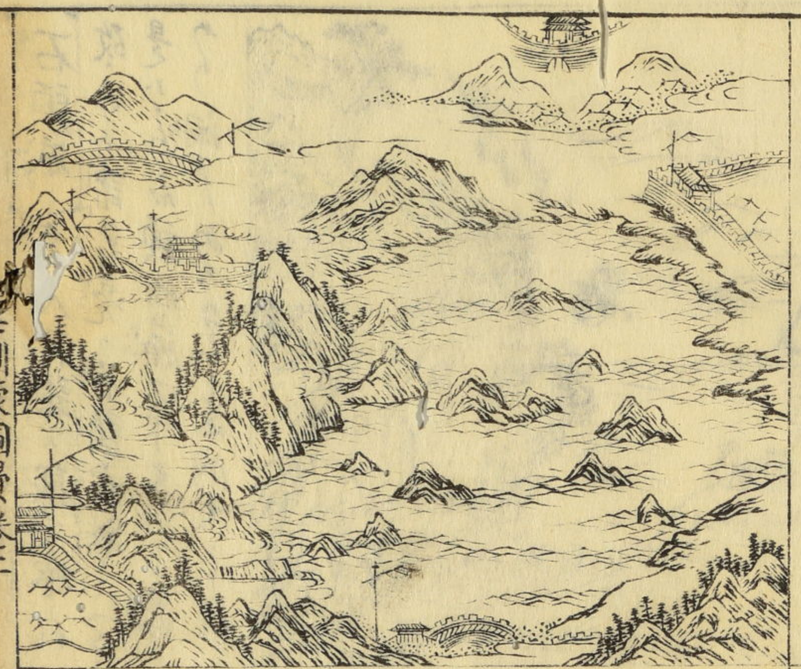
襄陽城の外にあり羅山抱て真に隠士の居とし龐德公ありて居とす唐の孟浩然歌帰鹿門歌あり

峩眉山

峩眉は三山大峩中峩小峩し大峩其高さ五千丈佛書に所謂普賢大士示現の所なり

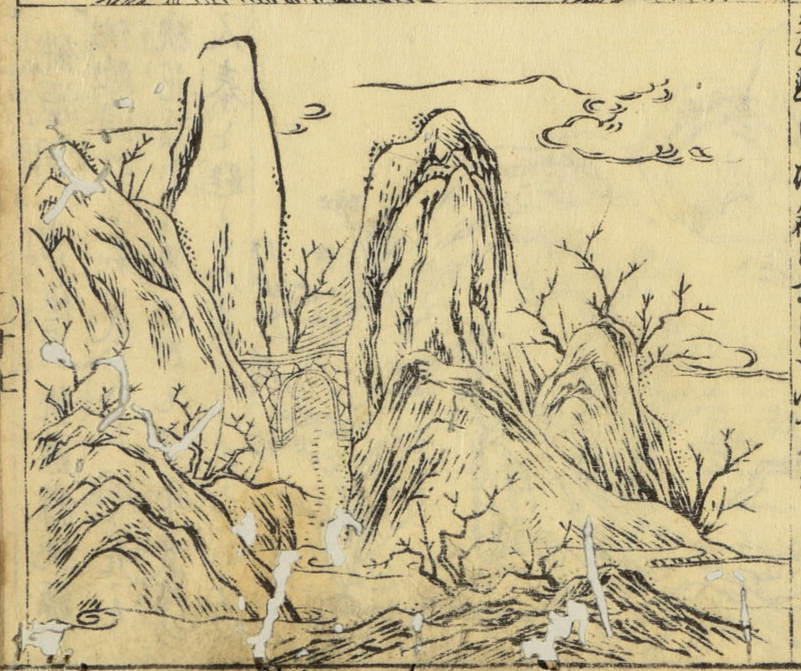
養龍坑

長宮司西山の間にあり[illegible]乃時雲霧晦冥[illegible]長丈餘のるとなり[illegible]



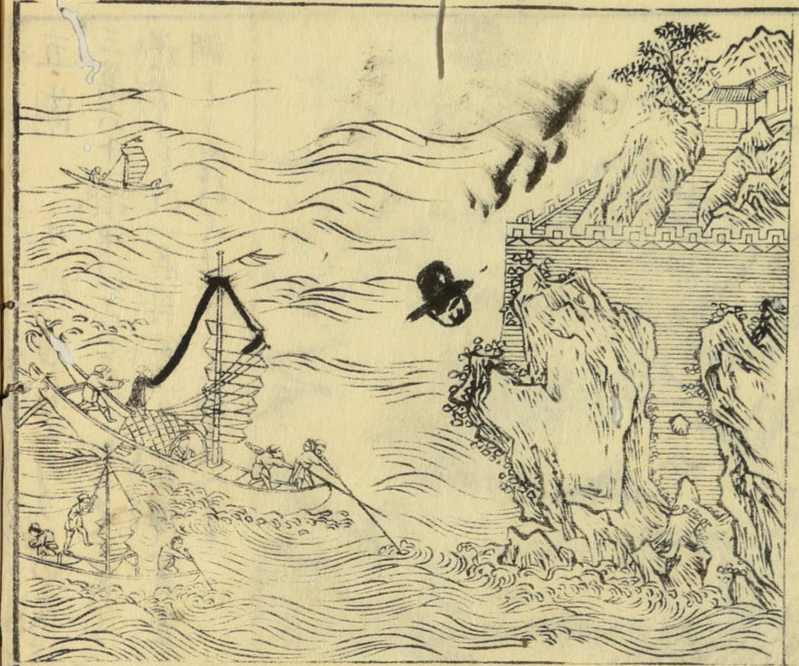
五湖

吳郡の西南にあり其廣さ三萬六千頃中に山七拾二ありて三江と禮記に一名具區一名笠澤一名五湖と名付くすべて大湖といへり



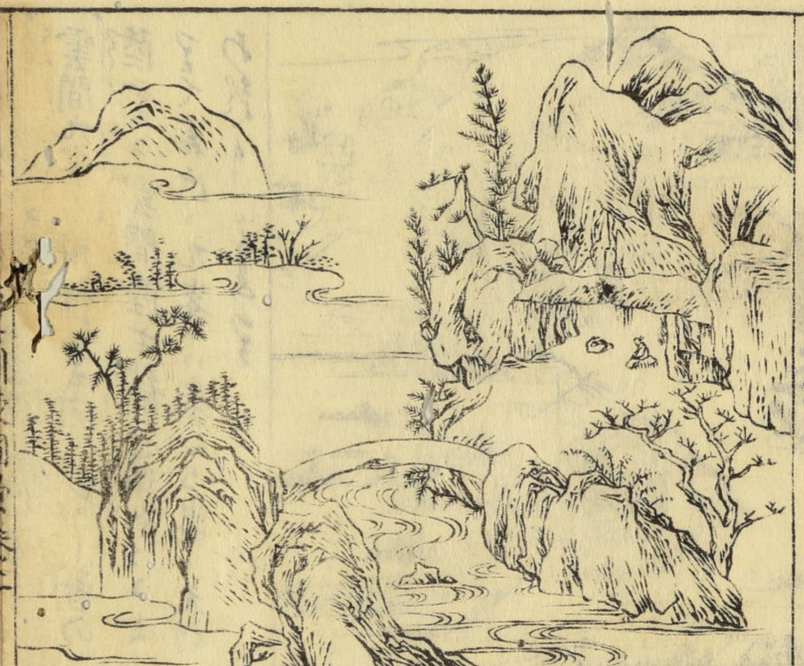
大庾嶺

南安府城西南五里にあり山るく嶮へくらく初ハ嶺の路受しらく通くらくしと唐の張九齡石蹬と開鑿所路とおくらく嶺上に梅多し或ハ梅福[illegible]

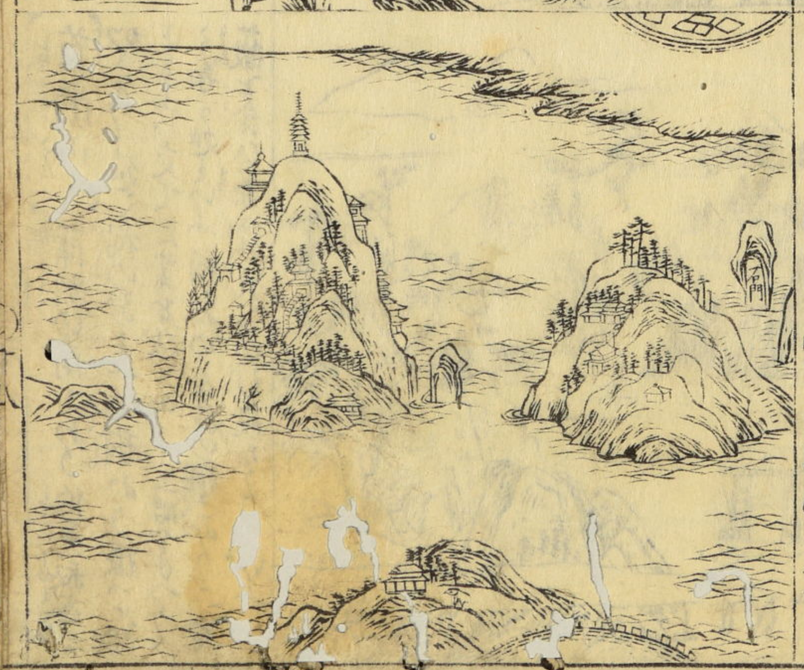


石頭城 是ハ石頭ニ據て城を設こゝ諸葛亮石頭虎踞といつる見なり石頭西山頂の下大江に臨り洞戸あり是も亦洞天とす

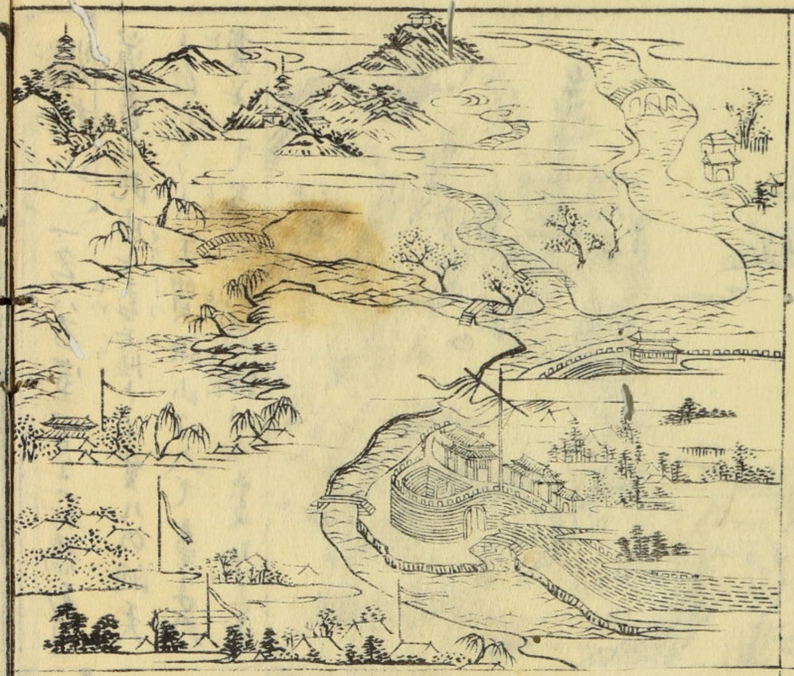
桃源洞 常德府桃源縣桃源洞あり一名八素洞洞の北に桃花溪あり晉の太元年中武陵の人秦を避る人まのひとなり



爛柯山 一名八百室下に石橋あり道書に此山を書雲洞と云八の洞天なり王質此山に入て童子乃奕とて斧の柯乃爛るを見て

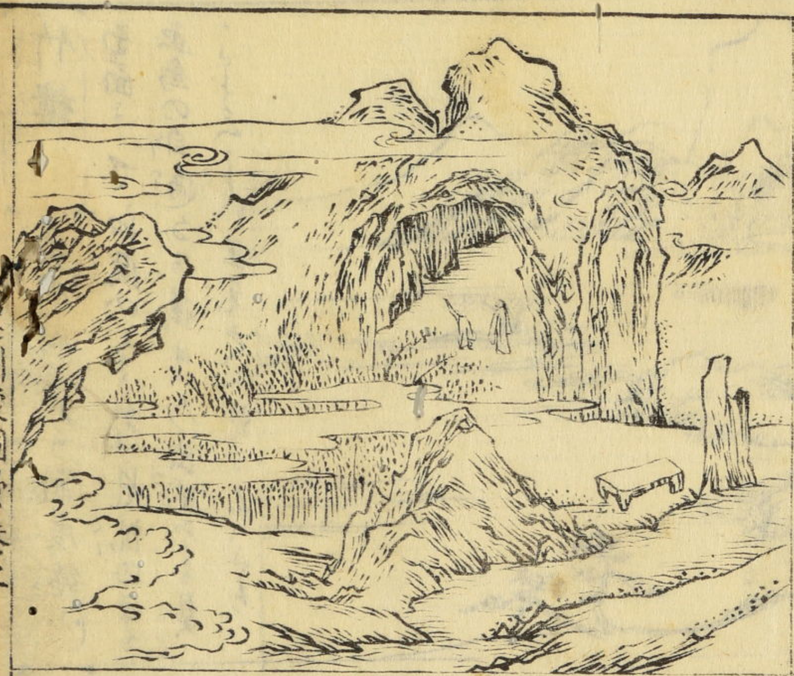


京口三山 北固山ハ京口城の北にあり下長江のうし金山ハ揚子江のべにありそれ焦山ハ京口城の東北にあり江中に峙て三の山なり孫京



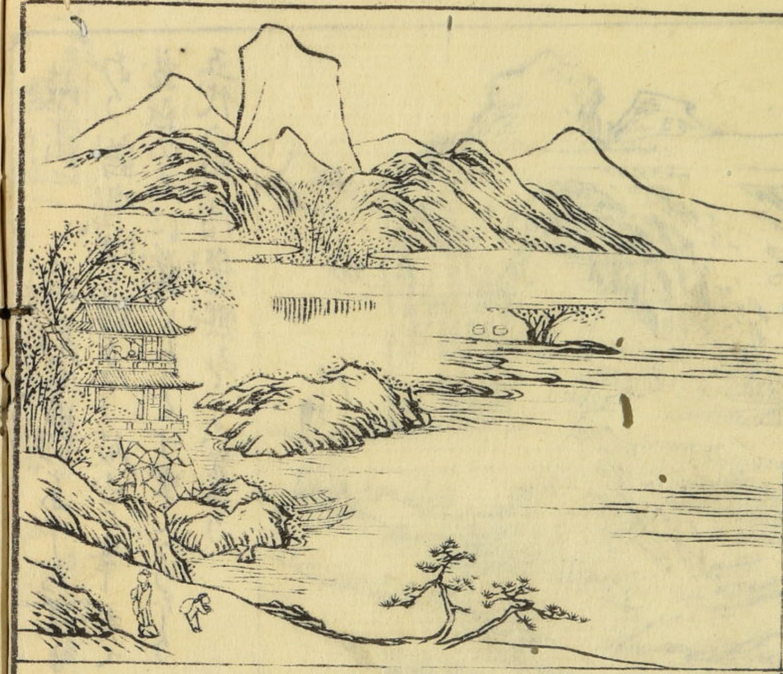
雲間九峯　所謂雲間ハむかし晉の陸雲か雲間陸士龍の語あるよりなを名ケく九峯ハ秀くる峯九ツわ終ケ一ツとなる

苕陽山　蒲州の南にあり伯夷叔齊のかくれし処し初のおの白樹あり根いと跡も上ハ交てりなすね海の如うあり処とい初おのの白鹿の類あり二頭まつうう薇と食ひ兼鹿乳とのむ故なり



岐山　漳州府城の東十五里にあり鶴鳴山と稱ず岐山三峯秀て龍江の上に峯くらと十里とらなり五代の時僧楚熙さくるおり

廬山　南康郡にあり其の麓三百里たい彭蠡と距ぶい沿ひ廬山ハ梵語おい孫章の居と俗ハ崇峰峻嶺飛泉絶壑良田その外こと



竹樓　黄州府よりの制度絵小面面にて江流のうるおい風帆のうる魚鳥の自適あり樓中乃幽閑なる具

王元之記ふ

九疑山　永州府寧遠縣南六十里あり山九の多ゆえ差わかいく

いつもとも数ふ〳〵なるよりて

ふ〳〵に水流ありて海に入る

雁宕　寶蕩同ジ　樂清縣よりの天下の奇なる山〳〵

ふ〳〵浪よりまと伐てこのひとつの項よりの大

池あり下ひとつの潭あり他ひとつの谷つ

まれてあるなり雁ようれてかようあり

谷ようこれ拔山そのへてその系

いえんくるし

蘭亭　浙東路紹興府會稽縣

にあり山陰ハ北の[illegible]れ〳〵

東晉の穆帝の永和九年　王羲之四十人

相會し〳〵処し此地よ崇山峻山領茂林脩竹

清流あり今よ立て亭とのふとり